【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第３区分
【発行日】令和2年12月24日(2020.12.24)

【公開番号】特開2018-81694(P2018-81694A)
【公開日】平成30年5月24日(2018.5.24)
【年通号数】公開・登録公報2018-019
【出願番号】特願2017-219754(P2017-219754)
【国際特許分類】
Ｇ０６Ｔ　19/00　(2011.01)
Ｇ０６Ｆ　3/01　(2006.01)
Ｇ０６Ｆ　3/0484　(2013.01)
Ａ６３Ｆ　13/213　(2014.01)
Ａ６３Ｆ　13/428　(2014.01)
【ＦＩ】
Ｇ０６Ｔ　19/00　Ｃ
Ｇ０６Ｆ　3/01　５１０
Ｇ０６Ｆ　3/0484　１２０
Ｇ０６Ｆ　3/01　５７０
Ａ６３Ｆ　13/213
Ａ６３Ｆ　13/428

【手続補正書】
【提出日】令和2年11月12日(2020.11.12)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
複数の実際のオブジェクト及び／又は仮想のオブジェクトを含む環境においてオブジェクトを選択する方法であって、前記環境は、ディスプレイデバイスを介してユーザに表示され、
前記方法は、前記複数のオブジェクトの各オブジェクトに対するジェスチャパスの割り当てを含み、前記ジェスチャパスは、前記オブジェクトを選択するために前記ユーザによって実行される一連のジェスチャを含む、方法。
【請求項２】
前記オブジェクト上又は前記オブジェクトの近くにスーパーインポーズされるタグとして各オブジェクトの前記ジェスチャパスが表示されることをさらに含む、請求項１に記載の方法。
【請求項３】
前記ジェスチャパスの各ジェスチャは、前記ジェスチャの向きに従った向きの矢印の形式で表示される、請求項１又は２に記載の方法。
【請求項４】
前記ユーザによって実行されるジェスチャを検出することと、
依然として前記オブジェクトを選択するために実行される前記ジェスチャパスの残っているジェスチャを表示することと、
をさらに含む、請求項１乃至３のいずれか１項記載の方法。
【請求項５】

遂行される残りのジェスチャの第１のジェスチャに対応しないユーザの検出されたジェスチャに対するオブジェクトを検出することと、
前記検出されたオブジェクトを破棄することと、
をさらに含む、請求項１乃至４のいずれか１項記載の方法。
【請求項６】
遂行される残りのジェスチャの第１のジェスチャに対応しない前記ユーザの検出されたジェスチャに対するオブジェクトを検出することと、
前記検出されたオブジェクトの前記残りのジェスチャを変更することであって、前記環境の各オブジェクトの前記残りのジェスチャは、前記環境の任意の他のオブジェクトの前記残りのジェスチャとは異なる、変更することと、
をさらに含む、請求項１乃至４のいずれか１項記載の方法。
【請求項７】
前記オブジェクトに割り当てられた前記ジェスチャパスが、完全に遂行されたとき、前記オブジェクトが選択される、請求項１乃至６のいずれか１項記載の方法。
【請求項８】
前記ジェスチャが手のジェスチャである、請求項１乃至７のいずれか１項記載の方法。
【請求項９】
前記ジェスチャパスの前記割り当ては、前記ユーザの快適さを考慮する、請求項１乃至８のいずれか１項記載の方法。
【請求項１０】
複数の実際のオブジェクト及び／又は仮想のオブジェクトを含む環境においてオブジェクトを選択する選択デバイスであって、前記環境は、ディスプレイデバイスを介してユーザに表示され、前記選択デバイスは、前記複数のオブジェクトの各オブジェクトに対するジェスチャパスの割り当てを含み、前記ジェスチャパスは、前記オブジェクトを選択するために前記ユーザによって実行される一連のジェスチャを含む、選択デバイス。
【請求項１１】
アサインメントモジュールが、
遂行される残りのジェスチャの第１のジェスチャに対応しない前記ユーザの検出されたジェスチャに対するオブジェクトを検出することと、
前記検出されたオブジェクトの前記残りのジェスチャを変更することであって、前記環境の各オブジェクトの前記残りのジェスチャは、前記環境の任意の他のオブジェクトの前記残りのジェスチャとは異なる、変更することと、
を実行するようにさらに構成される、請求項１０に記載の選択デバイス。
【請求項１２】
前記環境を分析し、前記環境の前記複数のオブジェクトを検出するように構成される環境分析モジュールをさらに含む、請求項１０又は１１に記載の選択デバイス。
【請求項１３】
前記環境分析モジュールは、前記ユーザの視点から部分的に又は全体的に隠蔽されるオブジェクトを検出するように構成される、請求項１２に記載の選択デバイス。
【請求項１４】
前記ユーザによって遂行されるジェスチャを分析するように構成されるジェスチャ分析モジュールをさらに含む、請求項１０乃至１３のいずれか１項記載の選択デバイス。
【請求項１５】
プロセッサによって実行されたときに前記プロセッサに請求項１乃至９のいずれか１項記載の前記方法を実行させる、記憶された命令を有する、非一時的コンピュータ読取可能記憶媒体。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００９８
【補正方法】変更

【補正の内容】
【００９８】
本説明で開示した様々なパラメータは変更することができ、開示され、及び／又は請求される様々な実施形態は、本発明の範囲から逸脱することなく組み合わせることができることを、当業者であれば、容易に理解する。
［付記１］
複数の実際のオブジェクト及び／又は仮想のオブジェクト（８、１０、１２、１４、１６、１８、２０）を含む環境においてオブジェクトを選択する方法であって、前記環境は、ディスプレイデバイス（４）を介してユーザ（２）に表示され、
前記方法は、前記複数のオブジェクト（８、１０、１２、１４、１６、１８、２０）の各オブジェクトに対するジェスチャパスの割り当て（３６）を含み、前記ジェスチャパスは、前記オブジェクトを選択するために前記ユーザ（２）によって実行される一連のジェスチャを含む、方法。
［付記２］
前記オブジェクト上又は前記オブジェクトの近くにスーパーインポーズされるタグとして各オブジェクトの前記ジェスチャパスが表示されること（３６）を含む、付記１に記載の方法。
［付記３］
前記ジェスチャパスの各ジェスチャは、前記ジェスチャの向きに従った向きの矢印の形式で表示される、付記１又は２に記載の方法。
［付記４］
前記ユーザ（２）によって実行されるジェスチャを検出すること（３８）と、
依然として前記オブジェクトを選択するために実行される前記ジェスチャパスの残っているジェスチャを表示することと、
を含む、付記１乃至３のいずれか一つに記載の方法。
［付記５］
遂行される残りのジェスチャの第１のジェスチャに対応しないユーザ（２）の検出されたジェスチャに対するオブジェクトを検出することと、
前記検出されたオブジェクトを破棄することと、
を含む、付記１乃至４のいずれか一つに記載の方法。
［付記５］
遂行される残りのジェスチャの第１のジェスチャに対応しない前記ユーザの検出されたジェスチャに対するオブジェクトを検出することと、
前記検出されたオブジェクトの前記残りのジェスチャを変更することであって、前記環境の各オブジェクトの前記残りのジェスチャは、前記環境の任意の他のオブジェクトの前記残りのジェスチャとは異なる、変更することと、
を含む、付記１乃至４のいずれか一つに記載の方法。
［付記７］
前記オブジェクトに割り当てられた前記ジェスチャパスが、完全に遂行されたとき、前記オブジェクトが選択される（４２）、付記１乃至６のいずれか一つに記載の方法。
［付記８］
前記ジェスチャが手のジェスチャである、付記１乃至７のいずれか一つに記載の方法。
［付記９］
前記ジェスチャパスの前記割り当ては、前記ユーザの快適さを考慮する、付記１乃至８のいずれか一つに記載の方法。
［付記１０］
複数の実際のオブジェクト及び／又は仮想のオブジェクト（８、１０、１２、１４、１６、１８、２０）を含む環境においてオブジェクトを選択する選択デバイス（５０）であって、前記環境は、ディスプレイデバイス（４）を介してユーザ（２）に表示され、前記選択デバイス（５０）は、前記複数のオブジェクト（８、１０、１２、１４、１６、１８

、２０）の各オブジェクトに対するジェスチャパスの割り当て（３６）を含み、前記ジェスチャパスは、前記オブジェクトを選択するために前記ユーザ（２）によって実行される一連のジェスチャを含む、選択デバイス。
［付記１１］
アサインメントモジュール（５４）が、
遂行される残りのジェスチャの第１のジェスチャに対応しない前記ユーザの検出されたジェスチャに対するオブジェクトを検出することと、
前記検出されたオブジェクトの前記残りのジェスチャを変更することであって、前記環境の各オブジェクトの前記残りのジェスチャは、前記環境の任意の他のオブジェクトの前記残りのジェスチャとは異なる、変更することと、
を実行するように構成される、付記１０に記載の選択デバイス。
［付記１２］
前記環境を分析し、前記環境の前記複数のオブジェクトを検出するように構成される環境分析モジュール（５２）を含む、付記１０又は１１に記載の選択デバイス。
［付記１３］
前記環境分析モジュール（５２）は、前記ユーザの視点から部分的に又は全体的に隠蔽されるオブジェクトを検出するように構成される、付記１２に記載の選択デバイス。
［付記１４］
前記ユーザ（２）によって遂行されるジェスチャを分析するように構成されるジェスチャ分析モジュール（５６）を含む、付記１０乃至１３のいずれか一つに記載の選択デバイス。
［付記１５］
コンピュータに付記１乃至９のいずれか一つに記載の前記方法を実行するようにするコンピュータ実行可能命令を含む、コンピュータ読取可能プログラム。